

## 令和7年度 学位記授与式 【学長式辞】

日野山にも新芽が芽吹いて、春が訪れようとしています。そんな穏やかな今日、福井県知事代理・副知事 鷲頭美央様、本学同窓会世灯会会長 波多野 翼様をはじめ多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、令和七年度の仁愛大学ならびに仁愛大学大学院の学位授与式が挙げてきますことは大変大きな喜びであります。ここに、人間学部心理学科 86 名、コミュニケーション学科 66 名、人間生活学部健康栄養学科 57 名、子ども教育学科 54 名、計 263 名の学士の学位を認定し、授与いたします。人間学研究科 臨床心理学専攻 13 名の修士の学位を認定し、授与いたします。皆さん、ご卒業・及び修了おめでとうございます。

また、御列席の保護者の皆さんにも心からご祝意を申し上げます。併せて、ご子息・ご息女の在学中に本学へ寄せていただきましたご支援、ご協力に対しましても、心より謝意を表します。さて、皆さんの進路はさまざまですが、在学中に培われた専門的な知識や技能、体験をベースとして一人ひとりが、それぞれの場で活躍されていくことに、大きな期待を寄せるものであります。それと同時に、「仁愛兼済」という本学の建学の理念に基づく高度な教養としての人間的学びも、皆さんの人生に大きな意味をもつものと確信しております。

本学では、夏休み、春休みを除いて年 6 回、「ソールメイキング・キャンパス仁愛」と銘打って、建学の精神をやさしい言葉にして学内各所の掲示板に掲げています。いつか、こんな言葉をかかげました。

**「親ガチャ」と自分の境遇の不満を外に向けても解決しない。  
見ろ!裏庭の花は置かれた場所で、精いっぱい咲き誇っている。**

コインを入れると「ガチャ」とカプセルに入ったおもちゃが出てきます。そのおもちゃは選べず、何が出てくるかわかりません。子供からすれば、親をそれに準えて、「親ガチャ」とか「ガチャ親」と言うそうです。「親ガチャ」と自分の境遇の不満を外に向けても解決しません。だが、花は置かれた場所で咲いています。裏庭に咲く花は、場所を選ばません。いただいた場所を頂いたものとして、精いっぱい咲き誇っています。それに引き換え、この私は「どうして、こんな所で…」 「どうしてこんな境遇で…」と、不満ばかり。一切がお与えです。そこに気づかないと立ち上がれません。それを仏教では「宿業(しゅくごう)の自覚」といいます。

裏庭の花を通して仏の智慧が届いてきました。気づけば、あるいは学ぶ心根があれば、一切が智慧の仏です。そういう仏の真ただ中に私たちはいるのです。でも、学ぶ心根のない人は気づけません。学ぶ心根のない人には、その智慧は届きません。

このような学びこそが、仁愛精神です。社会に巣立つ皆さんは、こういう自己を学ぶ心根を以て、それぞれの人生を歩んでいただきたい。その智慧によって苦が超えられます。そして、人生が深まります。このような「人間」と「心」を回復する「ソールメイキング・キャンパス仁愛」での

学びは、皆さんのこれからの人生の礎となることでしょう。今の社会は、そういう「心」のある人を求めているのです。

なお、皆さんの四年間(ないしは二年間)の在籍中の「ソールメイキング・キャンパス仁愛」を、「あなたに贈る言葉—うるわしい世を拓く灯となるために—」と題した小冊子にまとめました。今日、旅立つあなたへ記念にそれを贈らせていただきます。

最後に、皆さまのさらなるご活躍と人生の深い営みを念じまして式辞といたします。

令和8年3月19日

仁愛大学 学長 田代俊孝